

県立学校における新型コロナウイルス感染症への対応状況について

令和3年2月3日
広島県教育委員会

県立学校における新型コロナウイルス感染症への対応状況について、次のとおり報告する。
(令和3年2月2日時点)

1 感染状況

これまでの県立学校における感染状況は次のとおり。

(県教育委員会発表分)

	生徒等	教職員
人数	36人(23校)	10人(6校)

※県立学校には、幼児、児童及び生徒が在籍していることから、「生徒等」と表記している。

※学校数については、実校数である。

2 感染拡大防止に向けた取組

- 各学校において、感染源・感染経路を絶つため、生徒等及び教職員の健康観察を徹底するとともに、感染防止の3つの基本①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いなど、「学校の新しい生活様式」を導入し、感染リスクを可能な限り低減。
- 特別支援学校においては、障害や重症化リスクがある生徒等の在籍があることから、これまで実施してきた感染防止対策を引き続き徹底していくとともに、さらに机や床等の除菌回数を増やすなど、個別の状況に応じて、各学校で感染症対策を徹底。
加えて、特別支援学校において集団感染が発生したことを受け、障害のある生徒等の特性を踏まえた感染防止対策について、専門家の助言をいただき更なる対策を講じるとともに、通学用スクールバス運行业務受注者に対しても、更なる感染防止対策の徹底を依頼。
- 感染者とその御家族のプライバシーを守るため、SNS等による情報の拡散や、誹謗・中傷等の行動をとらないよう、生徒等への指導を徹底。